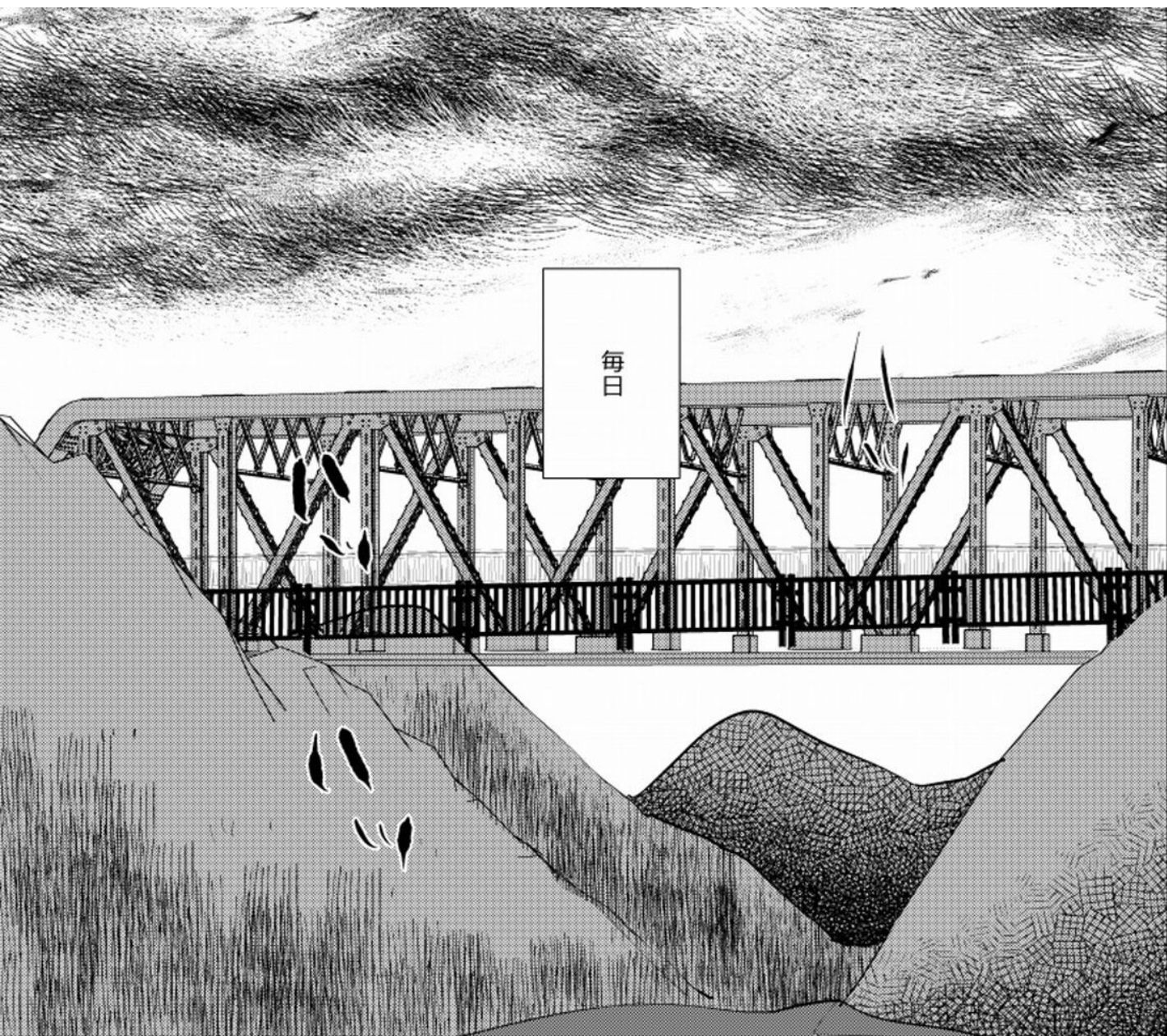


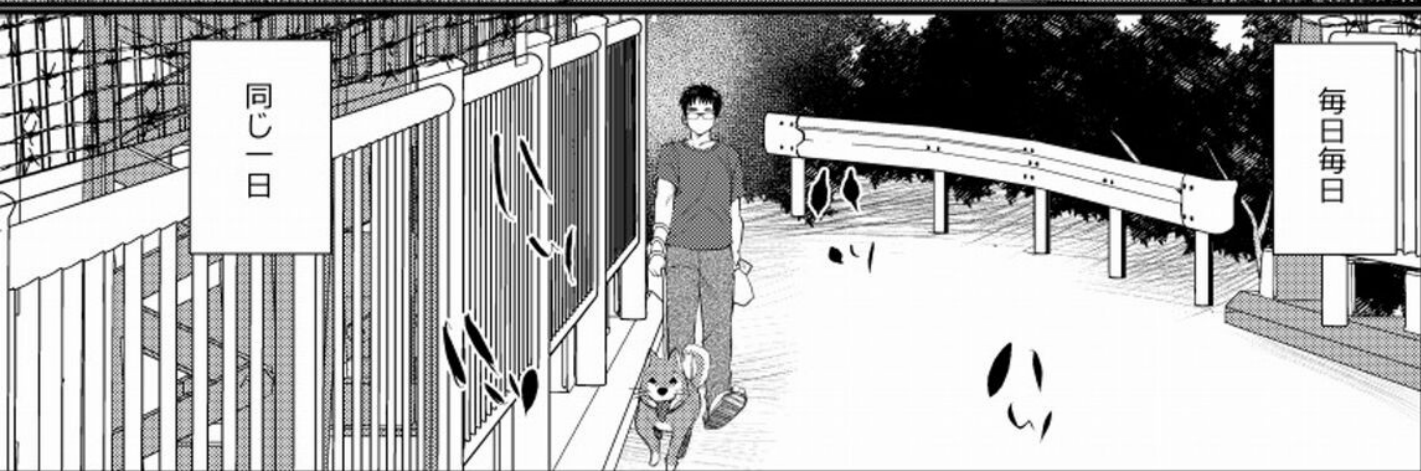
成人向

迷走少年





毎日



同じ一日

毎日毎日



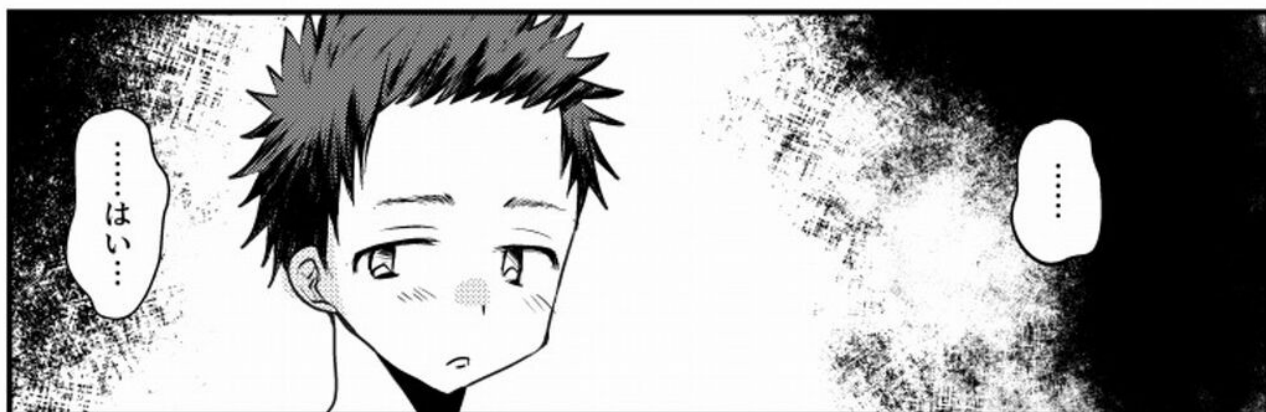
何年も
何十年も

もう











こんな
もう10分もすれば
止みますよ
ただの夕立でしょ

だめよ
こないだも
台風の時
そう言っ
て出しっ
ぱなしに
したじやない

あなたも
う34な
のに
いつ
までも
子
ども
もみ
たい
で

リュウの
世話代
込の家
賃なの
にろく
に面倒
見ない
んだか
ら

リュウは自殺者
引き留めて
警察にも
う三回も
表彰され
てるのよ
大事にし
ないと

その話
もう20
回は
聞きま
したよ…



とにかく
お願いね
私は真莉
愛と大
翔のお
迎えに
行くか
ら

はいはい
いって
らっしゃ
い



ごめんね
なんか

この部屋に
さっきの犬
入れるこ
とになっ
たけどい
いかな

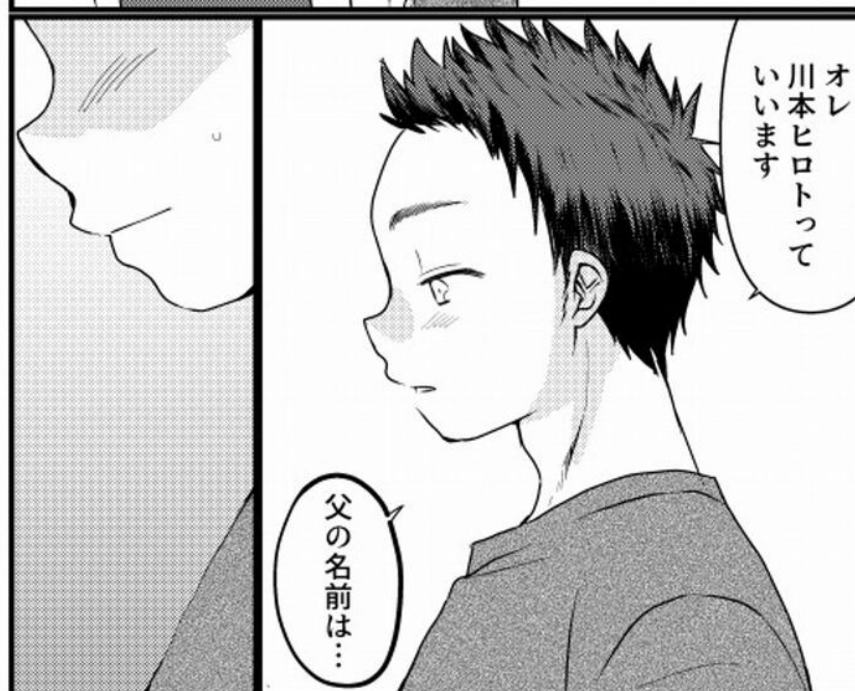
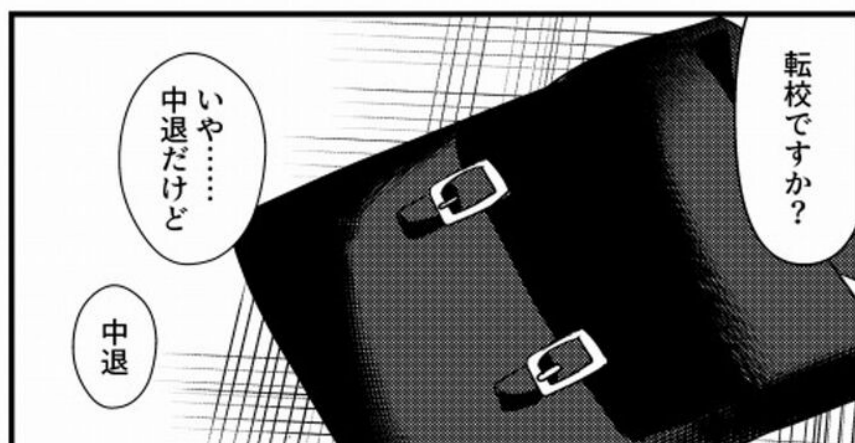
……ふー

……



高瀬司さん…
て

いとお名
前なん
です
ね



ドキ

川本……



母の再婚相手
なので
義理の
父なんです

全然
気づかな
かった……

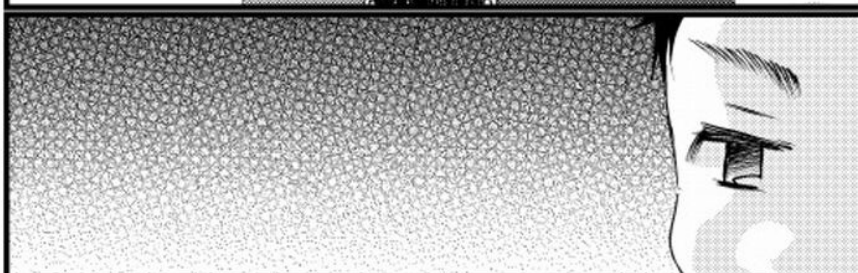
つか
それにしては
大きすぎない？
いつの時の子だ



……
まじか

川本の……

はい

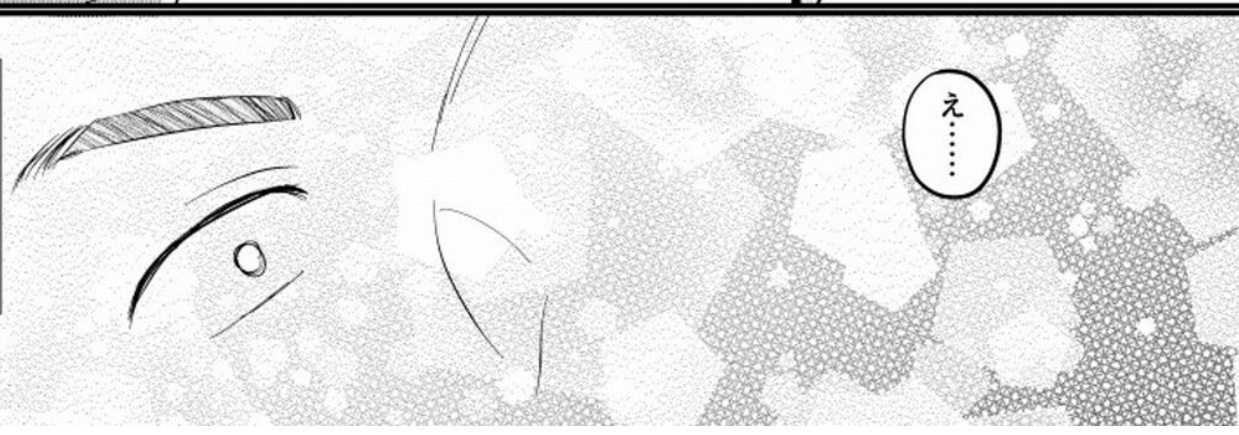


高瀬さん

スゥ……



ドス



あの夏の
あの教室の

息苦しい程の
暑さ

高瀬くん
てさー

このまま
止まるかと
思うほど
激しい心臓の
鼓動



俺の事
好きって
ホントー？



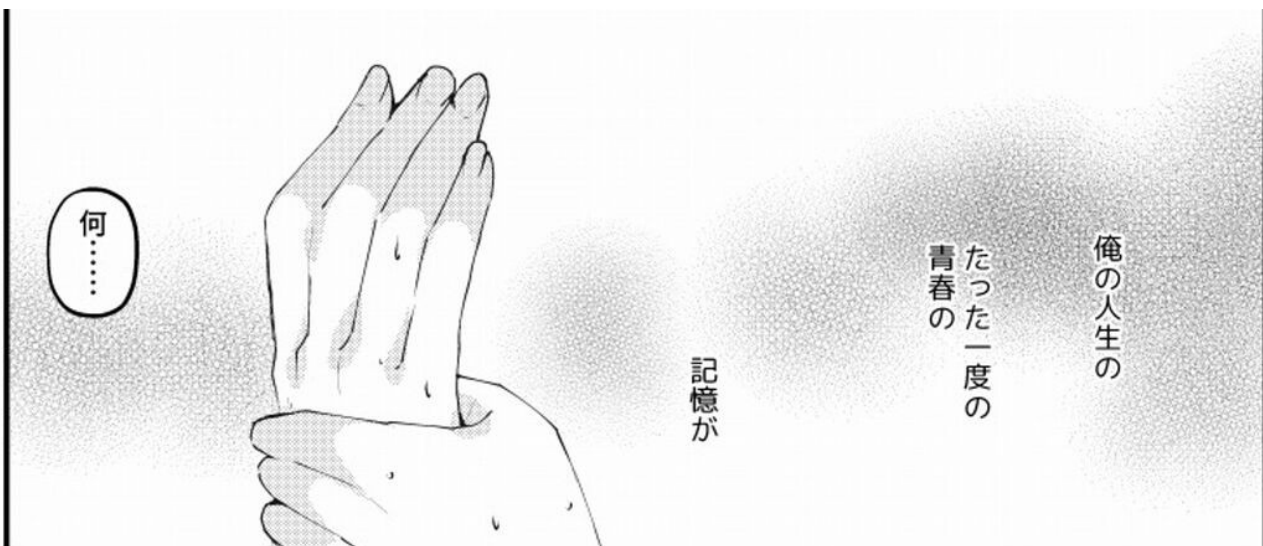
頭の中に
しまい込んで

生涯引っ張り出す
ことはないと思
っていた

震えと

恐怖と

苦みの



何……

俺の人生の
たった一度の
青春の

記憶が



言って……

嫌がる親父に
キスして
親父は激高して
殴って逃げたって

一学期の
終わり
高瀬さんが
学校を辞める日
静まり返った
放課後の教室で



親父にそう
聞きました

違います？

……



へえー
本当に俺の事
好きなんだ

高瀬って
ホモだったん
だなー

あの日は……
川本君に
突然教室に
呼び出されて――



違う……

ぎゅ

それなら
俺にキス
できる？



いいぜ
しても

きつと
できなかった

普段なら



！



それまで
川本と話した事は
ほとんどなかった

地味で暗くて
クラスでも
目立たなかった
俺と

バスケット部エースで
勉強もトップの
川本となんて
なんの接点も
なかったから

だけどその日は

親の会社が
倒産して私立の
学校を辞める事になっ

もう川本に
二度と会うことも
ないということと

まるで青春の
一ページみたいな
シチュエーションに

……俺は



キミだって
分かるだろう

男なんだから

……



分かりますよ

……男だから

だろ？



……にしても



元々自分で
煽ってきた
くせに

あいつ
義理とは言え
息子にそんな
話をするなんてな

俺の事
恨んでんの
かな……

嫌われても
良かった

どうせもう
会うことは
ないんだから

ずっと
惚れてた男と
キスできるんだ
から





多分

—
…

あの人は

高瀬さんの
こと

嫌いじゃない…
ていうか

結構好き
なんだと
思います

え

なんで

あいつ
ノンケでしょ

オレ

親父の事
好きなんで

わかるんです
オレも

……

……え

好…

えっ

もちろん
恋愛の意味で

一昨年
はじめて
会った時から

ずっと
好きなんです



……
高瀬さん

俺の事を
そんなふうに……

そっか……



……
ちよつと
へんなこと
していいですか

死ぬつもりは
なくて
ドキ

オレ
今日
本当に

え……

助けて
欲しかったん
です

誰かに



どこかに
逃げたかった

うちに
帰りたく
なかったんです



有名な自殺名所に
悪天候の日に
バスの最終便で
いけば

その先に
あるのは
死という
行き止まり

自ら袋小路に
追い込んだら

もしかしたら
誰か救って
くれるんじや
ないかって

まさかそこで
『高瀬さん』に
会うとは思
いません
でしたが

中二病と
いうか…
病んでるな…

最近の子は
そうなのか…

つか
なんかすご
い
触られてる
んですけ
ど…





こういうのが青春
ていうのかなって
思ったりして
ました

なんだか

一人だけなのに
希望もなにも
ないはず
なのに



……あれ

か……

……青春……



いや君みたいな
かわいい子に
そんな触られたら……

……



高瀬さん
ちょっと
勃ってきましたね

……へっ

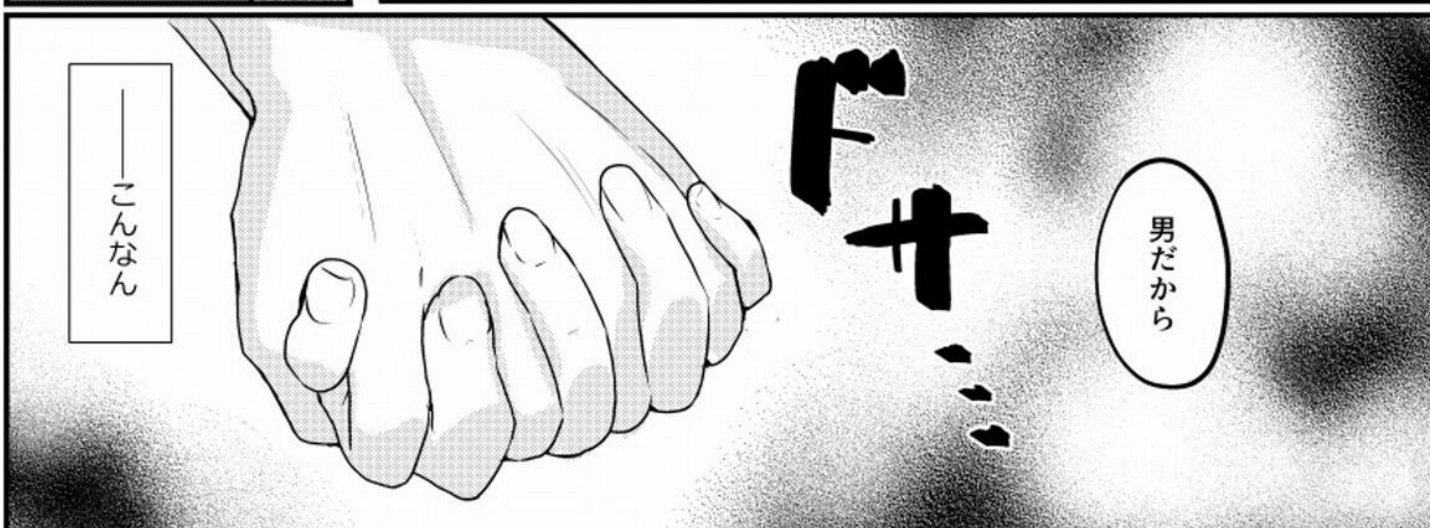




—
...



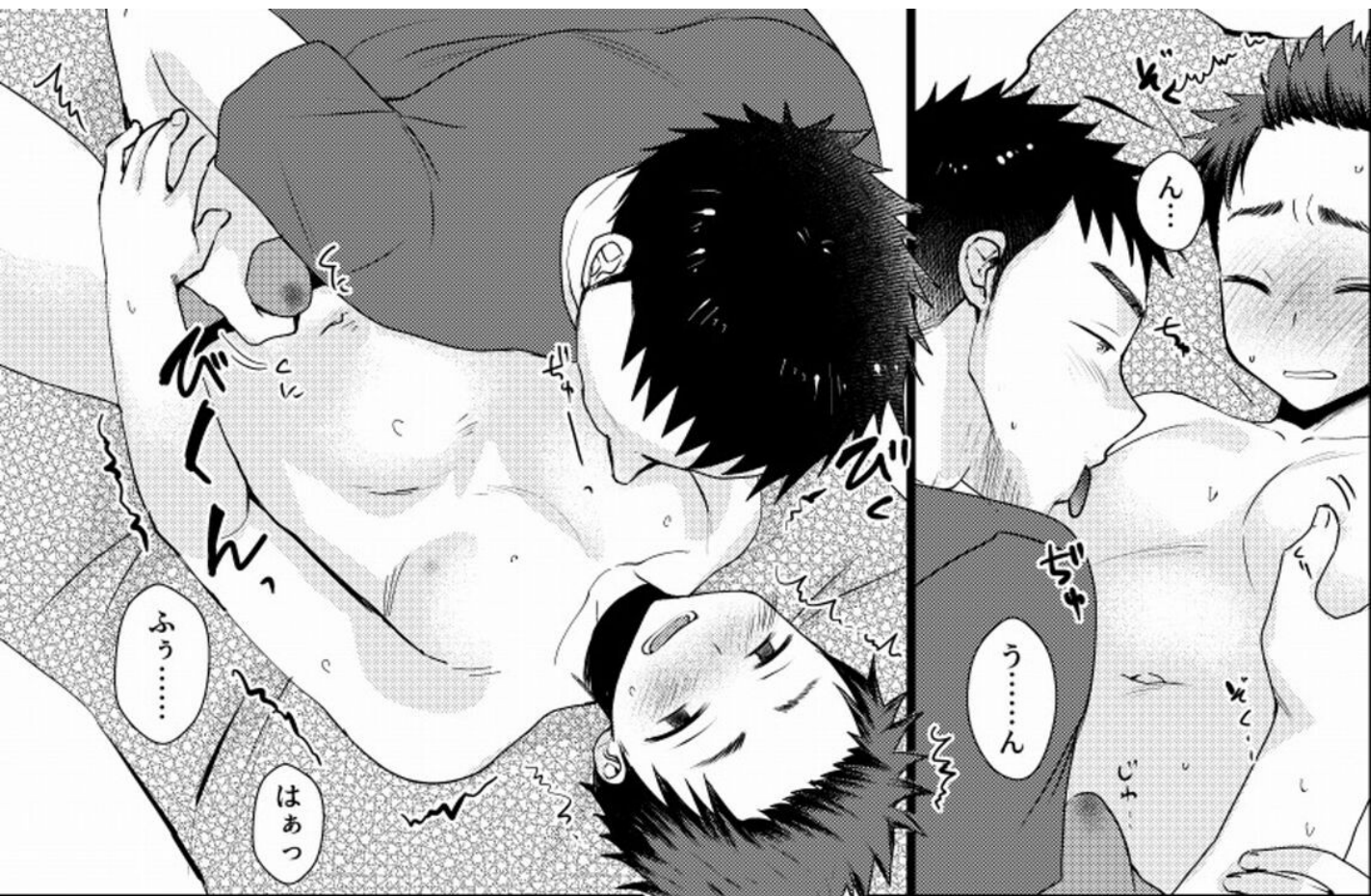
.....
わかるよ

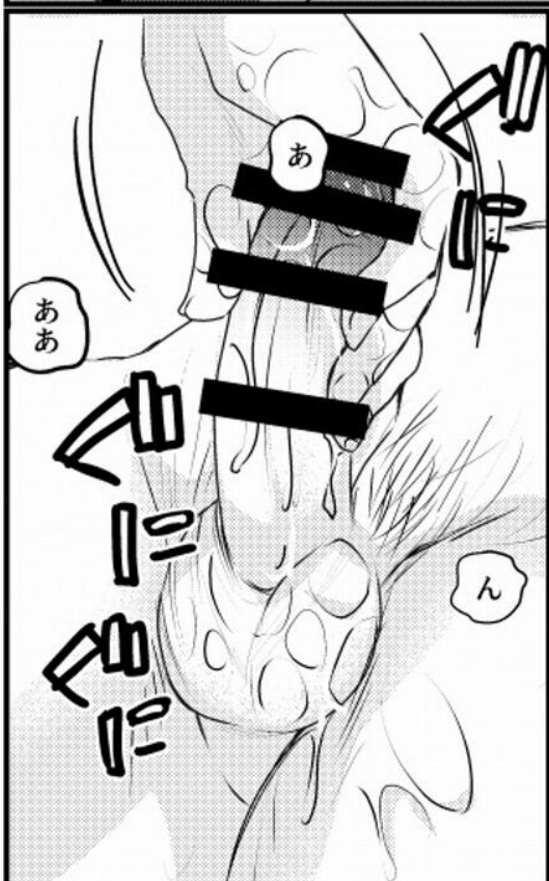


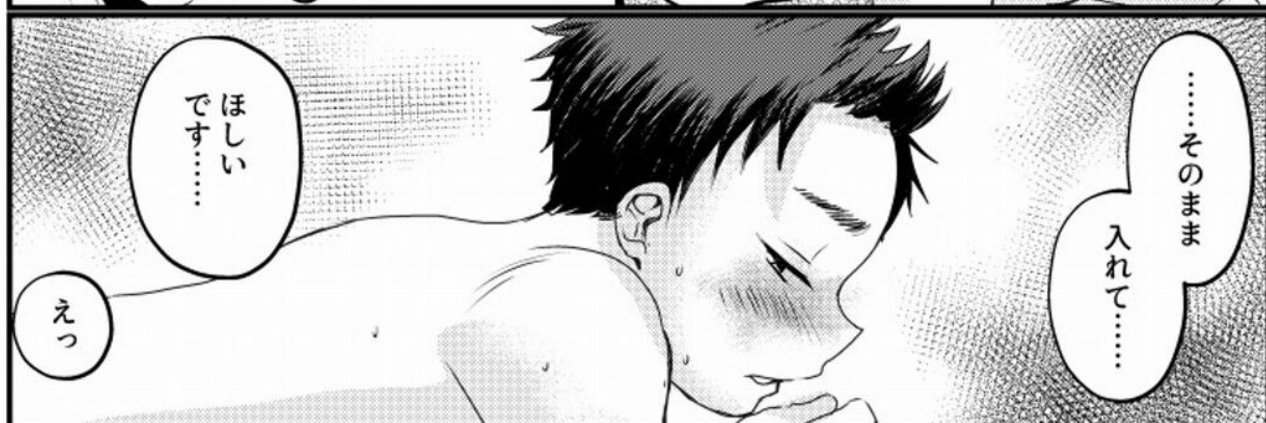
—
こんなん

男だから













今

34歳の俺が

16歳のあの夏の
あの日の

あの教室の事を
思い出して

この

築40年の借家の
8畳間で
エアコンも
つげずに

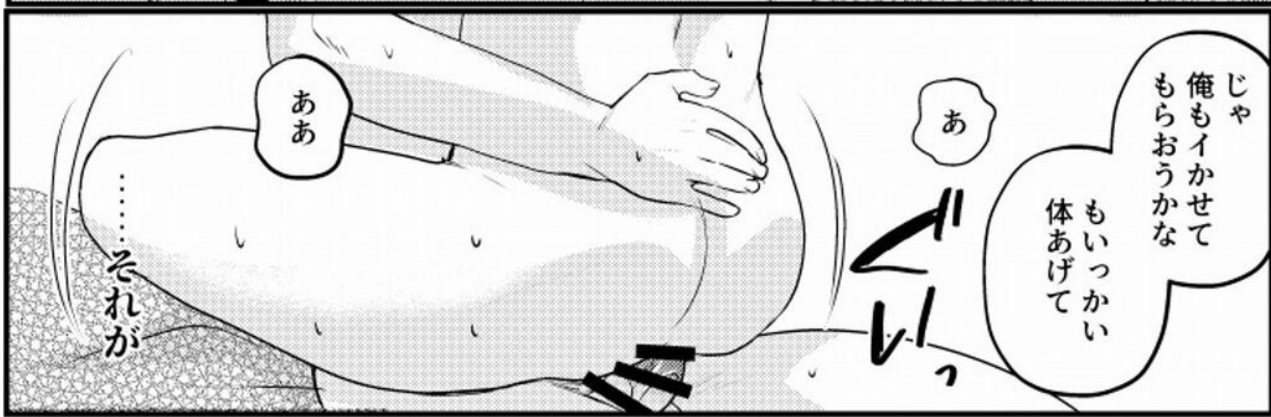
初対面の少年と
思春期みたいな
セックスに
興じて





ん…
うん…

いっばい
出たね…
おしり
きもち
よかった？



あ

それが

あ

じゃ
俺もイかせて
もらおうかな
もいっかい
体あげて



あ…

それが

まるで

やっぱ…
きもち…



はっ

ああ

う…

あ

ち

あ



……そんな事を

考えていた

母さんが
妊娠したんです

それで
親父に告白は
なかったことに
するからお前も
俺の事は忘れろって
言われて……

それまで
何も言って
こなかった
くせに

オレが
いなくなった方が
親父も母さんも
幸せなのかなとか
色々考えて……

それで
嫌になって
ここまで
来たんです

すごく
くだらない理由
なんですけど

川本は
モテるのに
デリカシー
ないからなあ……

でも
その悩みは
下らなく
ないよ

——一週間前

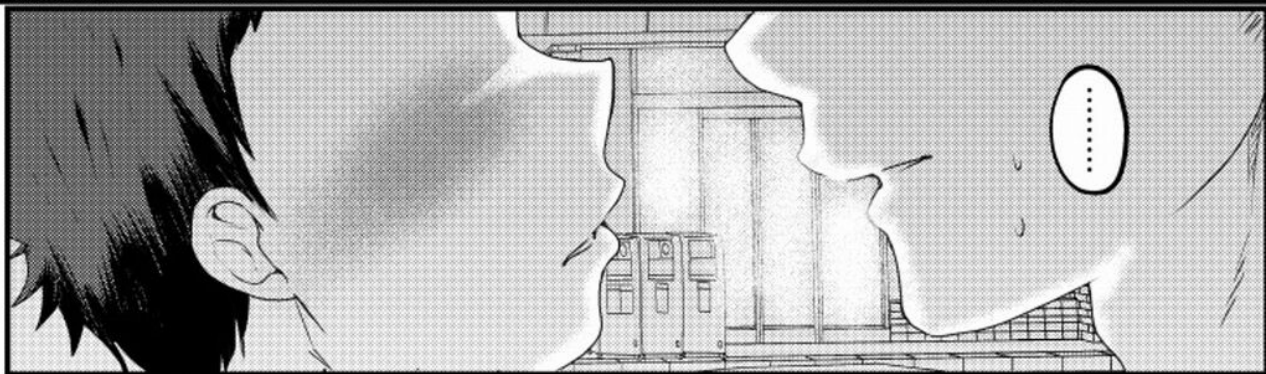
若いころは俺も
何気ない悩みが
とても大事だった

でも社会に
出てからは

小さな悩みを
感じないくらい
毎日毎日
おなじ事の
繰り返しで









毎日

毎日
同じような日々

じゃ
連絡先
交換しよ

……はい

だけど毎日
少し違う日々

その積み重ねを

きっと

人生と呼ぶん
だろう

あれ
高瀬さんて
アイコン
あの犬なんですか

自分の飼い犬
じゃないのに

他に思い
つかなかったから

おっさんになると
そんなもんだよ



2019/08/10
たなかな